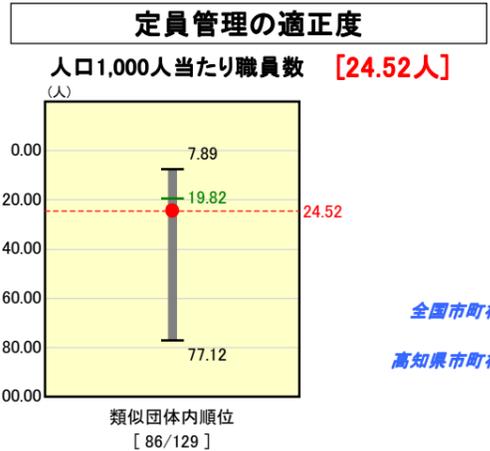
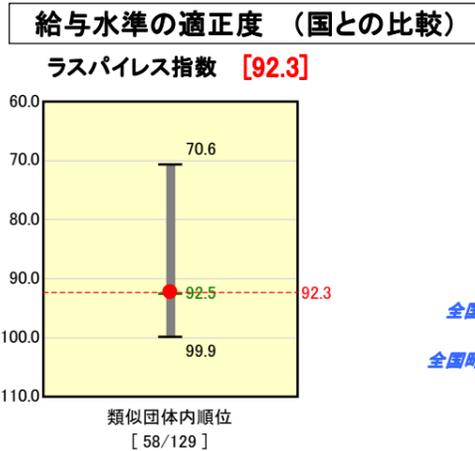
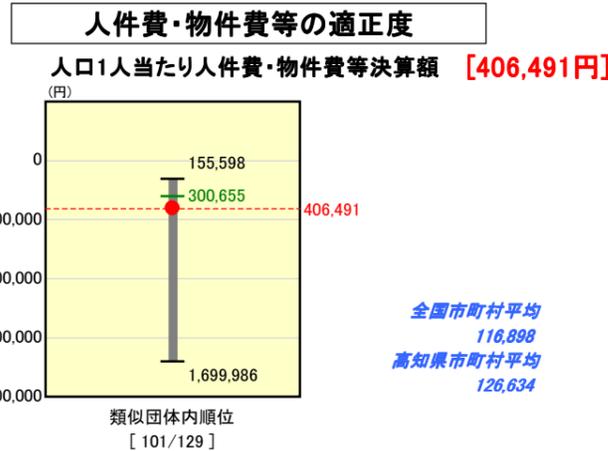
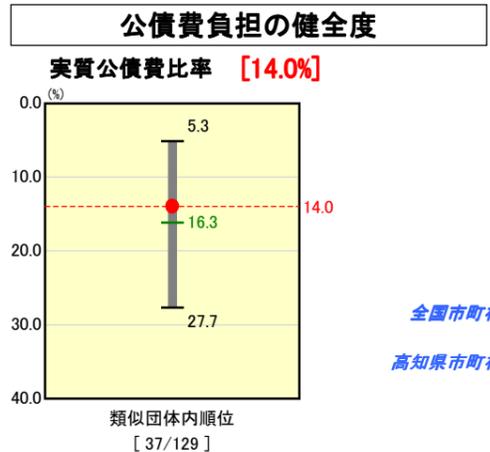
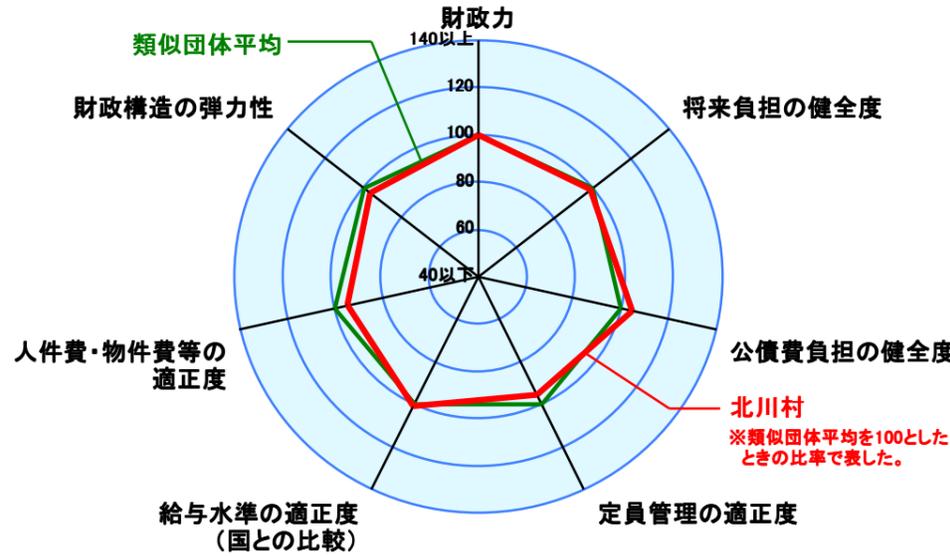
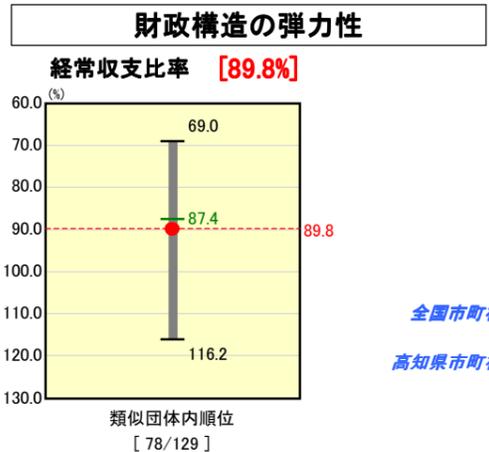
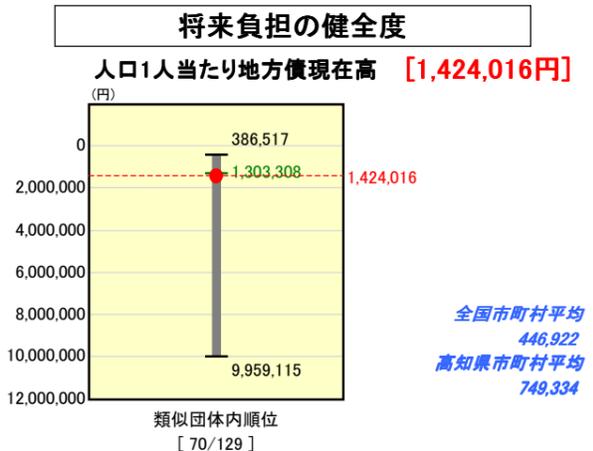
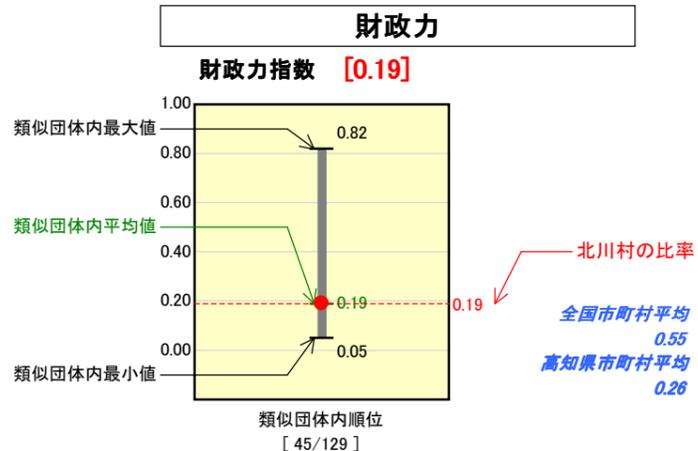


市町村財政比較分析表(平成19年度普通会計決算)

高知県 北川村

人口	1,509	人(H20.3.31現在)
面積	196.18	km ²
歳入総額	1,893,320	千円
歳出総額	1,849,278	千円
実質収支	24,017	千円



※人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし、人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

分析欄

○財政力指数
類似団体平均値と同等であるが、景気の低迷等により、固定資産税(大償却資産)に落ち込みが見られる。歳出の見直しや徴収率維持による歳入の確保に努める。

○経常収支比率
公債費の増加に伴い、平成16年度に102.3%であったが、歳出削減や繰上償還等の行財政改革の実施により、類似団体平均値に近づきつつある。地方交付税が年々減少し、今後も厳しい状況が予想されるため、更なる財政の健全化を図る。

○人口1人当たりの人件費・物件費等決算額
平成16年度より開始した地籍調査の事業規模を前年度より縮小したことに伴い、昨年度より減少している。

○ラスパイレス指数
退職不補充による職員数削減により、類似団体平均値以下となっている。

○人口1人当たり地方債現在高
財政状況の悪化に伴い、新たなハード事業の抑制や高金利の起債の繰上償還実施により、地方債現在高も減少している。モノの庭開発時の借入額が大きいため、平成23年度までは高い水準で推移する見込みである。

○実質公債費比率
公債費償還のピークを終え、新たな起債発行も抑制してきたため減少傾向にあり、今後も徐々に改善していく。

○人口1,000人当たり職員数
退職不補充等による職員数の適正化に努めているが、依然として高い数値である。今後、各広域連合への職員派遣等も見込まれるため、必要な行政サービス提供等も見極め定員管理の適正化に努める。